

「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	平成 31 年 4 月 27 日（土） 15:30～16:30		
会 場	騰波ノ江市民センター	申込団体名	騰波ノ江地区区長社協
参加者の意見	<p>●防災ガイドブックの洪水ハザードマップで漠然とは分かるのですが、各集落にある公民館や集落センター等の目に付くところに、ここはどのくらいの標高ですというのを設置していただければ、水害の際の具体的な浸水状況が分かると思います。津波の高さを表示しているところもあるので、標高を表示してもらえれば、数須と筑波島の高さの差も分かるので、そういうものを作っていただければ有難いと思います。</p> <p>●洪水ハザードマップを見ると、騰波ノ江地区全体が、騰波ノ江小学校体育館が避難場所になっています。私が住むところは、最も小貝川に近くて、学校からは遠い場所なので、心配なのは、学校に来る道路が、北と南の2本しかないことです。そこを一斉に車等で来たら、大混乱になってしまうかなと思います。そのうち、水にも迫られてしまうかなという気がします。出来れば、貝越あたりに、一時的に避難できる場所として、とりあえずは、命を守るための逃げる場所があると良いと思います。小学校に行くよりは、貝越地区としては、逆に、明野のほうに逃げたほうが早く、向こうは高いという話も出ています。</p> <p>●数須と筑波島の園児・児童が、以前は5～6名だったのですが、10数名まで増えてきました。道の駅から横根に行く幹線道路のところの横断歩道について、この10数名が渡るのですが、保護者の方が毎日、信号のないところで旗振りを行っています。騰波ノ江地区の中で、横断歩道で信号が無いところは、その1箇所だと思うのですが、国道125号・294号の近道という関係上、通勤時の車がとても多いです。そういうところで、ヒヤヒヤしながら、保護者の方が旗振りをやっているような状況ですので、出来れば、押しボタン式の信号を付けていただければ、有難いと感じています。</p>		

市民協働課 扱